

平成27年度行政事業レビューシート(内閣府)

<b>事業名</b>	総合科学技術・イノベーション会議の主体的な国際活動			<b>担当部局</b>	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	<b>担当課室</b>	参事官(国際担当)	笹井 弘之		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	-			
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	科学技術基本法(平7法130)、内閣府設置法(平11法89)第26条			<b>関係する計画、通知等</b>	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)「科学技術外交の強化に向けて」(平成20年5月19日総合科学技術会議決定)科学技術イノベーション総合戦略(平成25年6月7日閣議決定)科学技術イノベーション総合戦略2014(平成26年6月24日閣議決定)日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)			
<b>主要政策・施策</b>	科学技術・イノベーション			<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	諸外国の科学技術関係僚僚や有識者との交流、国際会議の開催や出席、最先端の研究開発事例の視察等を通じ、諸外国の科学技術・イノベーション政策に関する最新情報を収集・分析することにより、各国と連携した我が国の科学技術・イノベーション政策の立案に資するとともに、地球規模の課題解決に向けた取組等の国際貢献を目的とする。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	・科学技術政策担当大臣と諸外国の関係との政策協議、総合科学技術・イノベーション会議有識者議員と諸外国の科学技術関連専門家との政策対話等を行う。 ・我が国での国際会議の開催、諸外国で開催される会議への参加、最先端の研究開発事例の調査等を行う。 ・これらを通じ、諸外国の科学技術・イノベーション政策に関する最新情報を収集・分析するとともに、我が国の情報を諸外国に向けて発信する。							
<b>実施方法</b>	直接実施							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	26	24	20	25	84	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	26	24	20	25	84		
執行額	12	25	26					
執行率(%)	46%	104%	130%					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 -年度
	国際交流や我が国の国際貢献を推進するため、閣僚級会合、国際機関等における会合への出席及び各国の関係僚僚等関係者との懇談の機会を維持することにより、日本及び諸外国間の共通課題の認識に基づく科学技術・イノベーション施策の充実を成果目標とする。	科学技術担当大臣又は総合科学技術・イノベーション会議有識者議員等と諸外国の関係僚僚や有識者との意見交換等の件数	成果実績	件数	7	7	7	
			目標値	件数	-	-	-	10
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	国際科学技術関係大臣会合:年1回	活動実績	回	1	1	1		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	日本アフリカ科学技術大臣会合:隔年1回	活動実績	回	1	0	1		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	閣僚級政策対話の実施:年3回(平成26年度より新規設定)	活動実績	回	-	-	7		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	大臣級国際会議の開催経費(執行額)÷件数	単位当たりコスト	百万円	2	3	3	3	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	大臣及び有識者議員の政策対話等経費(執行額)÷回数	単位当たりコスト	百万円	5	3	6	6	
内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0	2016年の我が国でのG7サミット開催にあわせ、我が国でG7科学技術大臣会合を開催することに伴い必要な庁費等の増				
	職員旅費	18.8	22					
	委員等旅費	4	4.1					
	庁費	2	58.1					
	計	24.8	84.2					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	科学技術は我が国の豊かさや人々の安全な暮らしの実現に不可欠であり、事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		-		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	海外も含め科学技術動向の調査は、国家戦略の根幹に位置づけられている政策を適切に推進するうえで不可欠であり、また情報の発信は、我が国の政策に関する国内外の理解増進に繋がることから、国が国費をもって優先的に実施すべき事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支払先については見積もり合わせを行うこと等で競争性を確保している	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	国際会議や調査等の出張については、割引航空運賃の活用等の効率化を実施し、適切なコスト水準となるよう適切に執行している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	国際会議に出席等する際には、事前の情報収集等を綿密に行うことで事業に必要なものだけをあらかじめ選定することにより、最大限の効果が得られるよう、真に必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	出張時の割引航空運賃の活用や出張者数および職務レベルの見直し等により、旅費に係る経費節減に努めている	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	科学技術政策担当大臣と諸外国関係との会合及び総合科学技術・イノベーション会議議員による諸外国との科学技術政策対話を推進したことにより、諸外国との共通課題認識に基づく科学技術・イノベーション施策の充実を図ることができた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおり活動することができた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	これまでの成果は、科学技術イノベーション総合戦略の策定等に活用されるなど、科学技術政策に反映されている。 ・今後も政策対話によって構築した諸外国とのネットワークを生かし、情報の発信・収集に努め、科学技術政策に生かす	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	・科学技術イノベーション総合戦略の推進等に必要国際活動を実施するため、出席する国際会議の見直しを図るとともに、国内で実施する会議については会議運営を見直し、できる限り経費の削減している。			
	改善の方向性	・引き続き、これまでの会議の開催実績等を踏まえ、出席する国際会議の見直しを図るとともに、国内で実施する会議については会議運営を見直し、庁費をできる限り削減する。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底し、効率的、効果的な事業の実施に努める。				
備考					
・アウトカム目標値については、各年度終了時の実績に基づき次年度の目標を設定している。このため、事業終了年度の目標値は現時点では明確に設定できないため、便宜上、目標を設定できる27年度の目標値を記載している。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0051	平成23年度	0047	平成24年度	0055
平成25年度	0132	平成26年度	0129		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

政策統括官(科学技術・イノベーション担当)  
26.4百万円

総合科学技術・イノベーション会議(旧「総合科学技術会議」)運営のための国際的な情報収集活動等、国際会議の開催

【随意契約】

A. (公財)国立京都国際会館  
1.3百万

( 科学技術関係大臣会合を行うための会場の借上げ等 )

【随意契約(少額)】

B. 日本コンベンションサービス(株)  
0.2百万円

( 科学技術大臣会合における通訳業務 )

【随意契約(少額)】

C. ヤサカ自動車(株)  
0.1百万円

( 大臣出張時の車両借上 )

【随意契約(少額)】

D. (有)エス・シー・アイ  
0.2百万円

( 国際携帯電話の借上 )

【随意契約(少額)】

E. (株)会議録研究所  
0.2百万円

( 会議等におけるテープ翻訳業務 )

【随意契約(少額)】

F. (株)サイマルインターナショナル  
0.3百万円

( 大臣有識者会合における日英同時通訳業務 )

【随意契約(少額)】

G. サントリービバレッジサービス(株)  
0.001百万

( 会議等における飲料水 )

【随意契約(少額)】

H. (有)京栄写真  
0.01百万円

( 科学技術大臣会合記念写真撮影 )

【随意契約(少額)】

I. (株)JALエービーシー  
0.1百万円

( モバイルルータの借上 )

【随意契約(少額)】

J. その他(職員等)  
24.0百万

( 関係級会合、国際機関等における会合への出席等 )

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.(公財)国立京都国際会館			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	会議開催経費	1.3			
計		1.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)京都国際会館	第11回国際科学技術関係大臣会合の開催に伴う会場等の提供について	1.2	随意契約	-
2	(公財)京都国際会館	第11回科学技術関係大臣会合(控室飲食・ネームカード分)	0.1	随意契約	-
3	(公財)京都国際会館	第11回科学技術関係大臣会合(控室飲食・ネームカード分)	0	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本コンベンションサービス(株)	国際科学技術関係大臣会合(同時通訳業務)	0.2	随意契約【少額】	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヤサカ自動車(株)	科学技術政策担当大臣の京都出張に伴うハイヤーの借上げ	0.1	随意契約【少額】	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)エス・シー・アイ	国際携帯電話借り上げ	0.2	随意契約【少額】	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)会議録研究所	国際科学技術関係大臣会合のテープ反訳作成作業	0.2	随意契約【少額】	-

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマルインターナショナル	大臣有識者会合における日英同時通訳業務	0.3	随意契約【少額】	-

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	サントリービバレッジサービス(株)	会議等に供する飲料の提供	0	4	-

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)京栄写真	国際科学技術関係大臣会合参加者の集合記念写真撮影業務	0.1	随意契約【少額】	-
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載			<input checked="" type="checkbox"/> チェック		



## 別紙3

I

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JALエービーシー	モバイルルータの借上	0.1	随意契約	-

J

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	3.6	-	-
2	個人B	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	3.6	-	-
3	個人C	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	2.7	-	-
4	個人D	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	2.6	-	-
5	個人E	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	2.1	-	-
6	個人F	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	1.7	-	-
7	個人G	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	1.6	-	-
8	個人H	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	1.5	-	-
9	個人I	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	1.1	-	-
10	個人J	閣僚級会合、国際機関等における会合への出席等	0.8	-	-